

# 新 路



昭和27年

5月15日

5月号 NO.9

中野区新井町549 織本外科病院

親和会 機関紙

発行責任者 加藤 兼吉

◇ 附添神問答

A 成形手術を三回もやるといいうりに、どうして附添婦をこけられぬんですか

橋本 つけてはいいけどいいといつて

いるんぢやない、成形手術に対し、民生では一人附一ヶ月間の附添婦を認められている、これが原則で、これは曲げられないといつておられます

A 曲げられないどころか、私の子

主張

供はこの医師の診断書にある通り、兩側空産だし、減量は普通の人の倍もかかるんです、一家全部幼

らかなけりや、食つてもいけないうえ未だ、とこち一ヶ月だけの附添や

や本人はびびりになつちやいます、三人附でもいながら一日も多くつけ

るより何とがしてく下さい

橋本 これはお上の方針なんだから、お前さんがいくら頑張つたつて

どうしようもない

A それで済ませますよ、お前さんも役員、やむを得ません、駄目でも

のほけ目なんです

◇ 準備施設

二田準備費 内政費

61年度 一五〇〇〇 六五〇〇 橋本

62年度 一四〇〇〇 六一〇〇 橋本

63年度 一三〇〇〇 一〇〇〇 橋本

またに臨時留學費の出現、内政

費、學生費の恐るべき増大

昭和二十六年十月、社会法務制度

審議会が政府に提出した報告に「少

◇ 日本ドクリツス

くともこの程度のことではなけれ

ば、当面する社会不安に対する国家

の責任を遂すことは出来ない」と

結論している、緊急対策として二十

七年度中に少くともこの程度のこと

が出来るという手算の最終額九二五

億円の厚生要求を池田首相は半分

の四七億圓に削つた、

その理由にいづく

民生費の増額、財政、平均街

に社会保証、といつても

そこへばかり力を入れているのは

日本の財政の基礎は確立しない

財政赤字を云々するにはプラン

入を考へてからものを云い給え

見事なプラン人、ここから「お上の

方針なるものが生れる、

◇ 新憲法

第二十五条、すべての国民は、健康

で文化的な生活を営む権利をもつ

國家はすべての生活面について、社会

福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及

び増進に努めなければならない、

——警察官補給は官給ではない

しかし日本は再軍備を憲法的におん

ずするに、憲法改正もまたやむ

を得ないものらしい、——吉田首相

青年よ、平和と独立を回復した

日本を再訪するため起るとい

病人も結核患者も、そして癌は

じこへゆく、嗚呼、

◇ ソウジョウ病

とこころが物ソウなもの、お婆さん

の一人歩きがでなくなつてきた、

人民の場にくりひろげられたメーデー

のソウジョウはその端的なあらわれ

奇論の批判は「こう、こうたるもの、

——特に病床にある患者さん方は

どう考へているであろうの、結核と

いふ命之神にとりつかれ、附添は刑

札、民生費は縮められ、おまけに憲

法改正から再軍備の声が高い、

あのソウジョウをわすかにうつつが

をほらした歌の人も多いことだろ

う、赤、赤、赤……と赤色平和攻

勢を追いかけている吉田政府が、民

生費の圧縮——人心の不安——

を通じて赤色思想を普及している

は何という皮肉、これをも「一般

的危機」と稱する次へ、かくて日本

は独立した、

(病院月報)

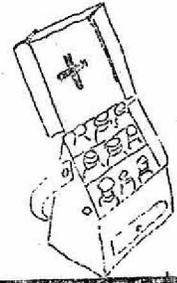
四月の活動状況

胎前成形術	14
産科切開術	7
月始入院患者数	33
月末	33
入院待期患者数	10

# 語るを術手

部 3 才

慶 正 本 織 (編 長)



## 成 形 術 の 巻

何時の日だったか肺の  
ピアノのリライタルの時  
に最初は一生懸命に用い  
ていたがそのうち小よ気  
がついた時、私はラスパトリウム(呼吸器別難子)  
で肋骨々壞の別難のやり方をしきりに考えていた  
事に気がついた。そしてあとかから批評をせぬ  
札で、実はその半分は胸廓成形術のことを考  
えていて、アノは聞いていなかった。惹いて、妬に  
叱られたことご覚えて、あるたも、とうと  
う音楽を解しない人間になつたわけ、等ご皮肉を

云われ、いや、本当にいい音楽なら手術のこと  
は考えるひまはなかりた筈だ、などと、理窟、云  
つたものだ。

私の頭の中は年中手術のことを去らない。随分  
色々な器械を續本式と稱して作った。手術と器械  
を考えていることが一番楽しかった。

成形術がこの手法によつて五分短縮されたとい  
うことが思の首でもつたように愛しい時もあり  
た、三年前に清瀨で手術を勉強していた頃は、三  
病棟の手術に出て、七月頃は月に二回位の成形  
の釘引きをやつて六ヶ月、三回の例位の助手の役  
やうと入をやらせてもつた。その頃肩胛骨を  
引くことがつらくて、あげくの果にスプリング鉤  
なる肩胛骨骨と骨盤を作つて今では清瀨では肩胛  
骨を引上げるのに人力を要しない。新しく来た先  
生方も私達のように釘引き方は知らない筈だ。

大雪の日に電車が止まつて東村山から清瀨迄、  
二室半の雪路を歩いて汗だくで清瀨病院にとびこ  
り、五時半過ぎ手術もなく電車の外動者は医局で私  
一人しか来なくてA先生はその清熱をばわられたこ  
ともある。

とにかく私にとつて手術は常に新鮮だつた。聖  
変切除一つにも無数の興味があつた。私は常に  
そのテクニツクの中に鑑した人面になつたかつた。

千葉運大の中山先生や水城先生が私の魅力の焦点  
だつた。

だが私に胸廓外科を指導してくれたA先生の手術  
は更に慎重ではあつたが魅力的なものではなかつ  
た。コツコツやる手術で鮮かではなかつた。長い  
間、色々A先生の指導を受けている間に私は  
自分の手術を作り上げていった。私は手術にもセ  
ンスがあることを知つた。リズムの必要を感じた。  
うスパトリウムを使う時は手術台を低くして、膝  
先を高く膝王使う必要を感じた。そうして最終時  
間、最少の出血量をオ一の目標としてテクニツク  
を改良した。極言すれば一本の筋肉センチの分け  
方にも原則を作り出した。

そうして現在では、特に困難でない胸廓成形術  
は四〇分以上はかかりなくなつた。四〇分以内の  
手術は出血二〇の分を超えないことは少なくなつた。  
私の手術は、はりつめた息を吐き出すよう  
に緊張をきまつて爆発的に終つた。器械出しの程ご  
痛も気合ががかつていた。術中私は手術以外に何  
も考へなかつた。

だがA先生はどうだつたか、やはり叩つくりと  
慎重なコツノとした手術をやつて一時間及至は  
それ以上かけることもあつた。私はそれを批判す  
るようになった。そうしてA先生はテクニツクの

改良にも無関心だと拒絶した。

早い筈やがな手術は誰にも評判がよかつた。だがA先生は手術時間に対して全く無関心のようであつた。むしろ超越しているといつた方が与へばまるかも知れない。だがそのうち私はA先生の手術の下手と人格を感じた。A先生の手術は水さうつたように静かだつた。私はそのうちに小と尊さを感じた。それはA先生を術フツとさせていたからである。その中には人間的なものがあつた。要だまずい表現だが凡そ手術が人間的であり人格的であることは斯るものかとも思つた。

私は手術へのもう一方の途を知つたよりに思つた。そうして私が結核で手術をしてもらう時は誰を選ぶかと考えた時やはりA先生にたのむだろうと思つた。私の一番軽べつするものは留ぶらりんなアカデミシヤンが行う下手出血の多い暴力的な手術だつた。私はその後A先生の手術を尊重した。そうして私はより近い處にあることとほつきり認めた。

然し、私はA先生と同じ道を追つて行くこととは違わなかつた。手術形式に於てはA先生のようなもののみが唯一的である

とは議論思わなかつた。人格の表現であることは何も手術に限らず凡ゆる仕事に於て基礎的な要素なのであつてそれよりも一つ一つの手術がこの手に憑いて如何に自覚的であるかが重要なポイントである。

手術形式と内容に分けるならば形式はあくまでもテクニックニカルなものでありやはり「最終病態」最少の出血量、最も生理學的な手術であり、内容とは人格の表現であり、スヒューマンイズムの具現である、いづれにせよ、手術の真髓は患者の臨

問  
こんど清瀬病院や象寮でも新薬を使いはじめたそうですが、どんな様子ですか。

答  
はれわれれもガツカリしている次第です。清瀬では、有熱患者に使ひ始めました。まだ二週目しがついていないのでハツキリしたことは分りませんが、熱は全然下つていないし、食欲がまだ様子もありません。東條でも非常に効いたという例は、ほとんどないようです。

問  
雑誌や新薬では、トントンの新薬は早く効くのが特徴だという記事がでていましたが、

答  
あるいはそうかも知れませんが、一方から考えると、出したては水がなり純製品を出して効果を見せなければ売れないからそんなにインテキなものを出すことにはないと思います。また、一方から考えると新薬の宣伝と日本の治す終致がそんなにかけはなれていないというのをおかしな話です。もう少し時期をまたなれば新薬の価値を評価することはできないと思います。清瀬では有熱患者の他に肺切除の術前に使うことになつていますがこれは面白い結果があらわれるので面白いかと思つています。というのには新薬をつかつて肺にどんな変化があるかを、とつた肺で観察できるからです。もつとも肺切除後はマイシンにきりかえます。これは新薬をてこまで信じて頼る気持ちに反れたいからでまだ淋しい話だと思つています。

合された処にあるだろう。私はA先生の道を追わずに、やはり技術の中に徹して行くことと思つた。それは、過然ではなくその方が手術らしいという判断からである。一本の血管の結紮から始つて、人間的な境地に入つて行くことが手術の本来的な過程であると思つた。

問  
「手術を語る」とは、シリーズで書いて行くつもりで第一回は「往の記録」であり、第二回は「死の記録」であり、第三部が「一般的事」がらとして構成した。

答  
清瀬や象寮で使つている薬が日本製だからというふうなことはないのですか。

答  
あるいはそうかも知れませんが、一方から考えると、出したては水がなり純製品を出して効果を見せなければ売れないからそんなにインテキなものを出すことにはないと思います。また、一方から考えると新薬の宣伝と日本の治す終致がそんなにかけはなれていないというのをおかしな話です。もう少し時期をまたなれば新薬の価値を評価することはできないと思います。清瀬では有熱患者の他に肺切除の術前に使うことになつていますがこれは面白い結果があらわれるので面白いかと思つています。というのには新薬をつかつて肺にどんな変化があるかを、とつた肺で観察できるからです。もつとも肺切除後はマイシンにきりかえます。これは新薬をてこまで信じて頼る気持ちに反れたいからでまだ淋しい話だと思つています。

# 氣胸療法の話

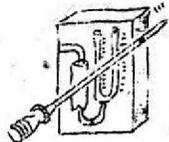
国立養育所清瀧病院

神澤克巳

編者より氣胸療法について書くようにいわれたので以下少しそのお話をお話します。

皆さん御存知の事と思いますが

氣胸療法とは肺をとり巻いている二枚の肋膜の間に空気を入れて、肺を押しつぶし、肺病巣を虚脱させ安静に保つとするとのがねらいで、その他にも色々の作用機転があるときれいていますが、比較的早期の軟い病巣なら、收縮して所謂「固まる」といわれている状態になる自然治癒を促進するのには好都合の状態になりますし、



又空洞化するのをおさえたり、病巣がそれ以上広がるのを妨ぐ上にも役立つ事は明かです。

この療法は人々が人為的に肺に手を加えて、治そうと試みた療法の

中で最も古い歴史を持つてゐる治療法で、従つて現在では広く行われてゐます。

昔の拙乙の有名人或る医師が、

「氣胸療法なかりせば、結核瘰癧にならず」とさえいつた位、氣胸療法のない時代と較べるとこの療法は光明を與えた方法であつたわけだす。

始めイタリヤ人によつて創案されたこの氣胸療法が現在吾輩中にあまねく行われるに至つたことは、この療法の効果を実際に証明するものでしよ。

然しながら、現代の如くに、化学療法や外科療法が發達し且結核に対する知識が向上しつゝ及ますと、氣胸療法は可能療法ではなく、氣胸に適した病型があることが次第にはつきりして來ました。

従つて私達も、成形を受けるべき

型は成形手術を、化学療法を受けるべき型は化学療法を奨めていまして、又、化学療法との併用とか、氣胸療法へ切替へたり致します。

然し人工氣胸療法は効果がない療法であるといふのは違つたのでこの点を誤解しないで下さい。

適地となる病型即ち医師が人工氣胸を奨める方は、この療法を続け、下さい。然るに処置で効果のある最良の方法です。

ただ氣胸を継続するには忍耐が必要で、このことは氣胸に限らず、結核を治すには忍耐は絶体に必要な條件です。

氣胸を受けて一般状態がよくならなれば、早く止めてしまつた人で再発をした人が吾輩にはまだ多くあります。先づ三年は続ける必要があります。必要があれば五年も十年も続けなければなりません。

或程度良くなると働きながら氣胸を受けられるのですから、五年十年とつづいても悪くならなつて寢込んでゐる

人の事を述べれば、この位の氣胸はした方が自分のためでしょう。

氣胸療法にはこの他、一般療法に安静療法や氣胸療法との併用、外科療法や氣胸療法との併用、肋膜腔の水がたまつたり、膿胸になつたり、或いは無氣胸という状態になつたりする合併症の注意を要する事項がありますが、今回はこの位にして私の責任の範囲を終ります。

## 肺病

「静かなる病」といふ、たゞ之内臓器と心臓に激しく動つていても、静かに、静かにいふ、否しいときには、宥むことを行つた人のことと思ひなす。

「新日本詩集」より



# 湯の町ものがたり 小 林

小林 虫 いたと文句もないが

## 湯の町ものがたり

越後の十二月と云えば北風にまじつて、白いものがさらつき始め、人騒も蛙や蛇になつて、冬賦生活に入ろうとする季節である。その十六日、橋本君と僕は海岸の湯波温泉を訪ねることにした。然し涼然とお湯を浴びに行こうと云うのではない、最近橋が上京することにしたので二年近く続いた二人の友情を

茅三君の存在を避けて、大いにその名残を惜しむうと云うのである。ボツボツ汽車に揺られて四時風ハスで五分、目ざす瀨波温泉に着いたのは、灰色の空は、今にも泣き出しそうなた暮近くである。



松林の中にある旅館の灯が煙々として周囲の露を凍まらせた。衣子の小高い堤からもうもうと蒸気が出湯である。ことを証明するように噴いて

いる。臨海ホテルと大書された門をくぐり、女侍の威勢のいい声に迎えられて要まった一室に通された。藤子のがラス越しに灯が白く見える。真新しい畳にすつかり足をよくして「うん、この花押

仲良く浴けてあると橋本君は顔にほめる「これで、効効を食わせて夜具がきれ

いたと文句もないが

少しケツプをばたんだね」「そういうことに

するが」「こんな会話で聞いてか聞かずしてか女中

さん、あたかたお茶の用意をして来て、顔をすり

つけていともいんさんな挨拶である。橋本君は重

い口調で、極めて至務的に人体の予定をつけ特に

丹前と夜具は清潔なものを持ってくるよう命令的に

云うとミニ敷の紙幣を「ケリ」に」と差出し

うなづいて聞いていた女中さん「どうも有難う御

座います」ともう一度丁寧に頭を下げ、営業笑いを

を見せ下ら、「今結りで客が来たので大勢いる

女中も交替で家に帰っている」とか「閑な時来て

くれるのがお客さんだ」とお世評をならべ

自分の名はお菊というから、何んでも見経にいい

つけてくれと、つけ出してから、後で遊水泉のの

がぬかないかとしつこく問出した。「誰も来ない

と支度に行き過ぎが、お菊さん仲好行出来ないと

云う顔である。若い男が二人で温泉宿に戻る

ことは、それ程までには自然なのかも知れない。

お菊さんは目が細く、口が大きい、おまけに肩骨

が出ていくとどうも女中の規格に合わない。ス

マートと云うには尻が大きい。ずんぐりもつ

くりの太つちよである。しかし、こういう型の方が高麗柄、かえつて愛嬌があつていいとも思う。満々溢れる浴槽に浸る。又し振りの温泉。ああ、の気分が味わいたいばつかりに

「おい、背中を出せ流してやるから」

「流させてやるうが」

「勿体つけるな、別札に望んで俺のサービスだ」

「お前やせているなあ」

「余計なことを云うな黙つてやれ」アツハ……

いつの間に小室の中には坂を捨てた洋服と、丹前

が入れ換えてある。「この丹前いやに短かい」

「あれお札帯がない」「お菊さん」と橋本君高

声を出す。バタバタ、スリッパの音をさせてお菊

さん顔を出す。「帯」僕のは丹前が短い」

あんたが大きすぎるとニヤリ笑う。そうして特大

の丹前はないと云う。「おび」」と橋本君は僅

促すると割黒湯の下で、もそくしながら自分の

腰に巻いていたギンクの頭を取出し、横にまわつ

て、片膝ついて結んでやる。「僕もそういうなま

めかしいのが欲しいなあ」「後でね」尻上りの言

葉と、上眼便に白い眼を見させていつてしまつ、

炬燵が出来て、ピンからキリまで化粧料理、三回川

で獲れたのたと説明し下ら、お菊さん銚子をとり

上げる「君の前途を祝して」と橋本君高々と盆を

もつ「いつまでもこの友情の続くことを祈つて」

と様も盆を手にする。恨めしげに息を吐いたお菊さん。盆を持つてくるから仲直りにして云う。

「盆はいらないこれさい。この盆は君自分の前の飯茶碗を、お菊さんの手に渡す、僕がなまぐさこ注いでやる「あれエア」と悲鳴をあげながら、

困つたようになき娘りもない。

「お菊さん 担当谷のそうだね  
「時々お客にすすめられて」  
と結尾を濁す。

「お菊さんい、つ」  
「女の午は歯くちのぢはねい  
よ」年を風かれて馳し馳鳴で



もなかうりに、「何故」「女つてもものほぬい  
とお菊さん、飯茶碗の酒で、のどを潤しながら、  
とわず話りの御舞台になつた、自分がここで女中  
をしてるのは戦争にいつた入の婦りを待つてい  
るのだという、「貞淑だね」短く結本君が言葉を

はさむ何れお盆で、熱の火照りを感ぜながら  
藤はお菊さんの奇癖にあり小れた話に素直になら  
づいで居たが、こころもすらすらと、身の上を白状  
するのを願っていると少々疑つて見たくなつた、

結り結婚したことがあるように話すのは、自分が  
藝女で、この年まで独身でいるのき、入が着け手  
がないたのだとでも思ふかと思つて言ひ訳してい

るようにししか受取れない

「お菊さん本当に辛棒出来るのか」からひかうよ  
うにいうと、キツとなつてにらみ返したが、その  
後から、いつのお客さんはこんなことを云つた、  
あんなこととした、一度乳をほられたとか毎晩泊  
りに来いと云つたとか、こころまで味るようになれ  
ばアルコール々に支配されて、正當の精神状態と  
は云いかわれる、更に唾を流して男二人で来たなら  
この先にある「海鎮座」に行けば良がつたという  
「どうして」

若いきれいな娘が多勢いて、しやなり／＼と  
至れり盡くせりのサービ入して、酒が清むと鍍子  
と共に騒ぶというのである。

語るに落ちたお菊さんの話を、中断するように、  
「飯にしよう」と声をかけるが、一服そうな顔で  
ある、視線をそらして茶碗をつき出す、冷えまつ  
た飯が、お菊の一杯けの糸のように口中の冷癖作  
用をしてくれさ、何時に寝たのか時計も見なかつ  
たが、無性にのどが乾く、高く低く潮の遠鳴りが  
子守唄のように長く耳に響く、結本君はかすがな  
慮息をたててまだ夢路を辿つて居る、障子が白々  
として暖場の方ではバタ／＼掃除の音がする、  
手を伸ばして侍らのベルを押すと、特徴のある足  
音で、お菊が足音をして入ってくる、「水みずす

と酔冷めの水を所望する、「コクリと入きくうな  
づいたお菊さん、如何にも酒呑みの気持はよく解  
ると云う目付きである、大きなコップに、たて繞  
け二杯「うん、美味い」、これ酒の味が全身に  
行き渡つたような気がした。

後記) 過去の一二は青ざわし編に、  
ほのかな微笑をもたらしてくる

### 病床の感傷

田島文市

あり、わたしの病室の人生を思ふ  
わたしの運に結核されたがれたの  
再び江戸エドモもない  
そんなことして来た影ぼすてわたしのものだ  
あの幻滅だ、しかし現実だ、  
起しの現実だ、わたしの偉く人生が  
そこそこエドモ退りかまきん

時は過く、然し又来る  
起し女は、かの雪の海やま  
さびしさは、かの天竺ハ  
そしてくいま、此の大地の底に  
かすが母わたしの生命は  
じつと、その端を持つて居る



# アソケート (回答者異名不同)

- 一 あなたが今一番楽しいことは何ですか
- 二 あなたが一番好きな人は誰ですか  
(小説家・スターでも良いです)
- 三 あなたが最近一番ビックリした事は何ですか

院長 織本 一雄

- 一 統獵に行く時
- 二 愛人(秘密教習)
- 三 小便の姿を見てもらした時
- 事務 清田 兵代恵
- 一 一生懸命茶をふってお茶の立具合を見るときです
- 二 生れたての赤ちゃん
- 三 ハイドラジットが出来た事  
(外科医長兼事務代)
- 附添 土方 千代子
- 一 丈夫で勤務させて頂く事

- 二 平野さん
- 三 一日に沢山の手術をなさること
- 一 氣胸 乙部 明子
- 二 宗教講話を聞いている時
- 三 私 の 母
- ニ ナ シ
- 一 部長 長尾 千春
- 二 何も考えずに夢中で手術をしている時
- ニ 徳田 球 一
- 三 胸廓成形術三ヶ年目に、三日間むつづく永井大作さんの大略血
- 一 成形 小林 幾
- 二 ぬること 野原 政送
- 三 その人の名は云えない
- ニ 持効薬出現
- 一 成形 田島 文市
- 二 金が手に入った時
- 三 元気に遊んでいる子供達
- ニ 高良女史のモスクワ入り
- 一 氣胸 伊藤 道子
- 二 自分好きな音楽を聞くこと
- 三 クララ・シューマン

- 三 夜中に物音がして泥さんが入ったとギョッとした時
- 一 成形 鎌田 茂
- 二 夜ごともよく眠れたこと
- 三 ミスター・カサギシズコ
- 二 アンケートが配布された事
- 一 氣胸 味 沢 宏 子
- ニ 氣胸の入院の日
- 三 三野十郎・ロマン・ロラン
- ニ おおいらさんの発言
- 一 副院長 織本 正慶
- 二 オートバイにのる事
- 三 きれいな人は誰でも好きです
- ニ 織本看護の培養があんまりはえるので……
- 一 附添 向井 勝 美
- ニ ありません
- 三 鳥取の大火
- 一 成形 林 島 勲
- 二 本を読むこと
- 三 水屋考と墜落事件
- 一 成形 村上 昭 二
- 二 未来を空想すること
- 三 母
- ニ 附原の出現
- 一 附添 Y・S
- 二 洋服を新調すること
- 三 別にありません
- 一 婦長と事務長の御結婚
- ニ 成形 井上 明 之
- 三 ぐっすり寝られること
- 二 夜空の人物なほありますが……
- 三 鼻血が噴出した時

- 一 成形 河野 光 孝
- 二 遊ぶこと
- 三 兩 親
- 一 三親類が出はじめたこと
- 二 成形 酒井 正
- 三 朔起きた時気がおさゆわかなこと
- 一 母が産む人は君が好きな人はなはい
- 二 附原七ヶ月目に疾が出はじめたこと
- 三 医師 秋山 寛
- 一 午 寐
- 二 成形 加藤 龜 吉
- 三 原しみにくしていることは社会復帰
- 二 家 内
- 三 培養 (へ十)
- 一 (成形久納氏の夫人) 千 枝 子
- 二 自分の子供と遊んでいること
- 三 児島英子様
- 二 永井さんが入院したこと
- 三 附添 鈴木 静 子
- 一 遊ぶこと
- 二 残念ながらごいません
- 三 大那星の患者の初め悪いこと
- 一 事務長 長尾 信 之
- 二 なんと良く生きているといふことです
- 三 それは言えませんが、女房につねられます

- 三 自分がいつの向にか結婚したと……ことです
- 一 成形 矢ヶ崎 登 雄
- 二 ハイドラジットが出来たこと
- 三 早く寝る日が来ること
- 二 大分よくなったと云った時の先生の顔
- 三 疾が出はじめたこと
- 一 事務 平野 元 清
- 二 お菓子を食べている時が一番楽しい。兵隊にならない限り生きていることは楽しいです
- 三 一 夜明けでムソルグスキになったボリソフ
- 二 ヒューマンズムを唱えるアメリカが稱賛を細菌を食ったというのを知ったとき
- 一 成形 笠 泉 さま子
- 二 生きていること
- 三 なし
- 一 成形 藪 石 良 知
- 二 なし
- 三 松川事件の判決

# A子さんへの手紙

## 「メーデー」

(看護婦) 境野静枝

A子さん

此の向は御地  
のニュー  
ス有難うござ  
いました。  
自他懲養な  
さって何か  
と退屈する  
ことではし  
うね。また  
日・一日と  
歳くなりべ  
ットに納っ  
ていることほど苦しくなるでしょう。  
では貴女様も御存知のように五月一  
日のメーデーをお知らせしましょう。  
あの朝、私はいつの間にか、信濃町  
を下り着素の匂いたじよう神宮外苑  
の中にすいとられのように静かに歩  
いていました。

どこかで元気の良い合唱が聞える  
のを聴くと木の向から赤旗がちらち  
ら見えるので、そばに行ってみると  
それは、くすい人です。五月の

太陽を受けながら多数の老若男女が

たくましい腕に力強い足をふんばっ  
てスタラムを組んで高々と歌ってい  
る。太陽は呼ぶ。地は叫ぶ。起てた  
くましい労働者……どの人の頬を  
見ても微笑をうかべり、スムに合せ果  
しそうです。自分達までおきつられ  
て心が奮い立って来るのです。めい  
めいに持つアラカードの絵も一生愚  
命あれこれと前日から考えたのでし  
よう。

「戦争反対・働く人達の平和を」  
「結核と吉田を撲滅せよ」等のス  
ローガンが目につきました。日常生  
活に感じる不合理を政府に討しての  
要求を書いたものでしょう。眞実が  
強く感じられました。働く人達のあ  
りのままの姿です。因結・因結・働  
く人達は因結の力が強い。良く痛れ  
たコバルトの空のもとに教えされな  
いほどの赤旗が新緑の風にゆらめい  
ている。A子さん、では今日はこれ  
だけのニュースです。食物や寝具を  
注意して風邪を引かないよう療養し  
て下さいませ。さよなら。

### 独立日本

## イバラの道

成形 福井 武久 勇

四月二十八日、日本独立？  
天皇陛下方オ、

いって、いいんですか  
「帝国万歳」

大 叔

汚職・ワイロ・大口脱税  
送革違反・公職追放・戦犯  
あ、しんどい  
平和の声は「許さん」  
変テコナンデスナ

赤れ若人青年よ

国政警察 海上警察隊  
警察予備隊 保安隊？  
防衛軍も

軍事予算

ご破算で稼いましては  
小銃弾一発百円也  
口ケット・バズーカ砲

千億では足りん 追加予算に  
いくらあっても足りませぬな  
(国民のふところおね)

い

破壊活動防止法案  
ゼネスト禁止法

労働三法改悪  
見ざる・聞かざる・云わざる  
「これでなくちゃ」  
占拠政策引継は出来んよ  
イヤ全く仰せのとおりですな

余ヘンは暴露だ

不況 曝 短  
ポンドはゴマントあるけれど  
使えない  
ドル一辺倒の不自由さ  
かえすと、も残念  
モスクワ 国際経済会議

ボツタム・ヤルタ・カイロの  
国際諸条約協定違反

平和条約は認めぬ(ソ連)  
侵略的な  
平和条約は認めぬ(中国)  
ごもつともですな  
日本の前途は  
イバラの道です

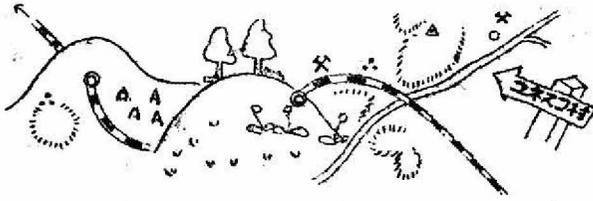
い

い

い

い

# お花見スケッチ



(事務)

平野元清

## (一) お花見ぐもり

今日は病気でお花見に行く日だ。いだんの心がけが悪いのか、空はしばらく今にもボタリと来そうな天気だ。ボクは風をひいて水鼻が出そうになって出足がにぶった。これも花見タモリといふのかも知れない。

## (二) 電車の中で

西に行くから西部電車だらう。電車は熊本病院の小さい紳士、細い紳士、太ったオトメ、ひろながいオトナ等色とり／＼をのせてガタ／＼ゴー／＼走っている。どこに行くんだって？ あゝそれをいうのを忘れた。ボク達は山口貯水池のある画武園エネスコ村へ行くのである。

## (三) イマツナなご女達

ボクの前に満田さんがすわっている。その左右は境野さんと渡辺女史がすわっている。並べてみるとそれ／＼には味があつて面白い類だ。ボクの隣りの堤島オバアが満田さんいたぢらしそうな顔してゐるわね、とさ／＼やいた。全く同感。あまりニヤニ

ヤジロ／＼見ていたら向うもニヤニヤ笑つて反対側に席を変えた。こいつは面白いぞ。ボクはたゆむれる蝶のようにひらりとその前に座取つて尚もジロリニヤ／＼。この三人組はボクの目より特殊な紅線作用によつてキリ／＼舞いをして電車の前の方へたげて行つたのである。あまり、いじめるのを後で反対にやられるから意地悪はこの位にやめ、重いポストンパンクを、この三人にあつけて、

ボクは窓を開いた。走馬燈のようにかげのぐる緑の森。麥島、家々、風がビューツ／＼とうなりを立ててとび去つて行く。田無という取をすきた。全くその名のとおり田んぼがない。麦がすく／＼のびている。ボクは知らず／＼に窓の外にかけめぐる早春の景色の中をいた。ときには詩人になり、雑木林の中をさまよひあるさ。ときには絵かきになり、赤いペレーをかぶつて小川のほとりにた、おみ、ときにはとんで行く風のような気持になりながら……無限の境地

だ、天国……ひよいと数をふりむくとこれはどうだ、かの三人組、ボストンからキャラメルを取出して△シヤ／＼喰べている。しまったあづけるんぢやなかつたと思つたが後の乗りである。彼女達はボクに二つうかれて「口止の料よ」といった。



## (四) 畑のほとり

そこで、コロリと……ムニヤムニヤである。これはとんだつまみ喰いである。電車をおりるとなだらかな丘がく／＼／＼と広がっている。緑の葉、水々しい木の芽、満開の桜、目につつるものがみな若々しい。そしてボク達も若いのである。……なんだって？ 兎島さんがオバアサンだから……とんでもない。兎島さんは若いオバアである。ボクは丘から丘へと歩いた。そして湖のほとりに出た。向う岸がかすんで見える。これが山口貯水池である

出会う人はみんな春や春に浮かれて  
 いる。ボクはふと木の芽で慰め出し  
 た。水井さんの唇血、熱を出した久  
 納さん、木の芽どきは患者さんには  
 悪い。僕はなんだか後めたい気がし  
 て自分の気が刺り切れなかった。  
 すると副院長が「かけっこをしよう  
 と考えた。よしまけるわんかと二人  
 でかけ出した。二、三百米も行くと  
 ボクがぐんぐん追いこした。副院長  
 オートバイがあればなあ」といつと  
 ころである。

(五) オムスビ三ツ・大福

喰べたこと



みんなを輪にな  
 っておべんとつを  
 喰べた。ボクは食  
 慾の権化となりオ  
 ムスビ三ツ、大福  
 四ツその他いろいろのお菓子を喰  
 べた。正直に告白するがボクはこの  
 ように喰いしんぼうなのである。

すもう

御飯を喰べてから副院長とすもう

まどった。最初からぶんばげられて  
 かんづぶされたかえるのようになり  
 てしまった。

目の上をスルル  
 輪がまわっている。

よし、今度こそ、  
 としつかり組ついて

ころく、耐した。副院長帰って来て  
 からむいた。いたい、と云って

た。  
 エカイ、ユカイ

ところが秋山先生が「わつしとど  
 と出て来た。

「よし、ひとひねり  
 ハツキヨイノコツタ」と向って

つた。そしてひとひねりにやられて  
 しまった。

(七) オトギ電車の中

焼りもオトギ電車にのって来た。

オトギ電車をわけるとよっぽらいが  
 僕達にけんかをふさかけて来た。焼  
 の青い宮田さんがカーッと赤くなっ

た。副院長は頬を青くした。そして  
 ボクはいつもの通り赤い頬をしてい

た。

たっ、島さんだけがニコく笑っ  
 て、「ごめんないね」、「ごめんない  
 ね」とあやまっている。さすがに

怒の甲より年の功である。  
 疲れたが楽しい一日だった。帰っ

て来て新井兼師でオミクジを買った。  
 ら、西に行くの良いことがある」と

書いてあった。なるほどオミクジの  
 まんざら当らないわけでもないわい

と、びつくりした次第である。



一筆啓上

小浜久八氏の巻

「見合結婚だと別れる時に責任の半  
 分をもちますからぬ」という  
 のが彼の結婚観である。見合結婚でも見  
 合結婚でも結論は同じだぞうだ、とい  
 うのは親友が熱烈な恋愛結婚をした  
 のにもう別れ話が起きているという  
 ところから来ているらしい。もう一  
 つ、これは大学で宗教社会学を専攻  
 したせいかわれない。さとしてい  
 るのである。

小浜久八氏と終って東京全業と同時に電  
 報通信社に入社、調査部にて親業を  
 浴を担当している。名前がいやで養子に行く  
 つわりだったが憲法が改定され廃絶された  
 家系が、必要がなくなったのでやめたよ  
 し。これめとどったのだらう。二十五才  
 女房も子供もまだおいてありますという  
 ような顔をしてすましているが、まだ年  
 は若いのである。秋に気胸水業と同時  
 に結婚したよし、目下候補者募集中  
 (見書記)



長尾夫妻

# 新家庭訪問記

本誌特派記者

織本正慶



山東のパン屋か

ら十歩歩いて左に

曲るといふ婦長の

道しるべだが

オートバイで行つ

たものだから、その感覚が狂つて丁

度そのあたりに同じような曲り路が

二つ、両方とも人が丁札逢うにも融

れ合わざるを得ないような細い橋下

である。オートバイだから一度人つ

たり後に進む事が大変だ。どつち

の路を選ぼうかと考えているうちに

「なんど気の利かない路の教へ方た

るう」等としゃくにさわる。

さん、迷つて、橋のないドブを

越して入つて行くことになり、家が見

える。これ、長尾一家の住居である。

(といつても、この一聞だけ)

「今日は誰もないんでね」と自分

の家の方にかかるまで縦は中にい

い調子である。彼等の部屋は八畳四

口の洋室で、先づ白土のが赤いこ

ら張つてゐる。

「こいつはいい、これが一万七千円

か？」

「うん」と彼もクツシオンをげん

骨で押つつける。彼は右手にビール

をひかき、手づから私にビールをつ

ぐ、おまゝのかさぶたのようなかま

んべいをつまみながら、ビールをグ

ツトやると神々いける。ところで一

向に女房が姿をあらわさない。何か

もてなすお料理を作つてゐるらしい

がやう、けりちよつとは顔を見せてく

れないと物足りない、く、に特に見

見なくはないが病室で歌として婦長

殿さいる以外女房としての彼女が

如何と思つて、又出て来るお料理も

何かしらと期待している訳だ。いつ

か訪談で遠慮が食つた、雪の中を

田舎屋から沢庵までびく来た彼女に

思ひ出したが、まさか、僕をみては

すのになく、あんまりないだろうと思

う。かまがたうおさんでいはい味が良

くそれをかかずにメートルをあげて

いる。し、丁ノ、と女房が覗れた。

「先生、いらつしやい今日はどうも

わざん、有難うございました。うん

と飲んで下さいね、ここだつたら、

いくら酔うばらつたつていいです、

と仰ぐうまいものだ。別に病院にい

る時と異つた病室をしてはいないが、

やつぱり半分女房らしく長尾は旦那

らしく見える。

「朝は飯をたくのかい？」

「いや、パンだ」

「もつとも君はあんまり食わないか

らね」

「とにかく、ここはすべてが逆だよ」

「普通は天婦羅茶碗というところ、旦那の  
方が大きいだろう」

「うん」

「こころや、女房に大きいのをやん

と僕は小さい方なんだ」

「なるほど」 朝で女房が又、

「又、すまねん、お茶を云つて、一箇

だけじゃありませんか」

と彼をなじる。

そう思つて思ふうちと成程長尾夫人

は、足こそすんなりと態度のようで

あるが、もつとも足つ先は小たまた

に分れてゐるわけでは無い、張りき

つた靴、が、ちりとした膝へ、これは

女房に、おまゝに、おまゝに、おまゝに、

美の典型であるが、主人の長尾は、

ひよろ／＼として、肉体的には、

あんまり頼りのある方ではなかつた

さればこそ長尾事務長は、

「お、お、お、お、お、お、お、お、

「こんな小さな釘板しかないけど、

これであくかい」

「うーん、僕ではだめだが、象内に

やせれば大丈夫だろう」といふ訳だ。

以下次号に続

# 自治会ニュース

## 従組ニュース

## 附添ニュース

四月の例会は副院長から「新築についで」の講話をきくとともに質疑応答を行いました。また法務委員より従業員組合、附添婦組合、親和会と自治会の横のつながりを強化するための協議会を作ろうという提案がありました。これは時勢がないのと、自治会々員は移動がはげしいので、仕事の中心になるのは不適当なので、親和会への提案事項として同会に案をねづけてもらうということになりました。

このほか、「便所が汚い、洗面所を増設してほしい、ベッドのマットを修理して下さい」といった苦情を病院側に申しれました。

◇ 八号室の岡口富子さんは、肺の区域切除手術ですが経過良好、自宅に退院。五号室原田恒雄新井惣次郎氏、一号室田村辰男、伊藤隆久氏は、自宅へ、六号室鈴木平次郎氏、五号室鈴木儀一氏は、成増病院へ、五号室小林住天氏は、足立式家病院へ、五号室島瀬健一氏は藤原病院へ、それぞれ転院されました。

四月五日、梅系婦組合結成について、結成協議に従業員組合が結成されました。規約と役員を決定したので、病院への提案事項として取りまとめるべく申しんねを行いました。結果は以下のとおりです。

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 荒瀬美穂子 |
| 副委員長 | 秋山 寛  |
| 委員   | 宮田泰一  |
|      | 佐野静枝  |
|      | 香山あや子 |
|      | 渡辺 絹子 |

大会の要之にはより、部内の医師従業員組合の連合体である梅系婦に加盟、このがえしメソロジーをいたされました。

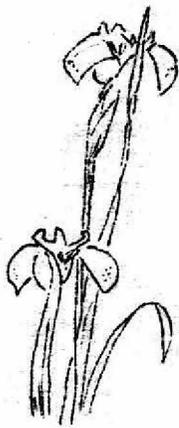
五月一日には梅系婦組合と各病棟、病室の連絡がございまして、病室にこのメソロジーの初めの本報を配りました。病室には十五名で数は少ないのですが、既に文化センター設置、病室にメソロジー、ハンコ、手袋、支差、病室のメソロジー、文化活動を進めたいです。

梅系は三月十九日、東京附添婦組合へ加盟、梅系支部を結成し、病院当局及び患者さんに対して、梅系にわたる要求の申入れを行いました。

また主要要求は、勤務時間、拘束十二時間、夜勤八時間とすること、控室の設置、看護料の選別の促進等々ですが、取組む場合には利害が反するものもあり、起しがるな、患者さんと附添さんが好むすることなく、仲好く手を握り合つて私たちの生活がより良くなるように努力したいと思ひます。

また、病室より半月程度遅れて生れた病院の従業員組合との親睦ははかり、梅系病院で仲よくみんなが仲よく、病室はがらかに明るく毎日を送れるように梅系として努力します。

五月一日にはメソロジーにも元気に参加しました。



☆ 繪本病院肺病才一号の

○ 二十六年度手術患者 鈴木利夫

○ 二人から多戸清生團に入院なさつた

よしお便りがありました。なお、同

病院に入院中の二十五年手術患者

中川良三氏、二十六年度手術患者、

金沢捨雅氏は同院を退院、それ／＼

自宅にお歸りになりました。

○ 函桐成彰才二病患者 江沢英夫

さんは四月はむかから勤めはじめま

した。但し、時は時に経過がよくやむ

を得ない等情での社会復帰で職場の

條件等を比較的確めまされているので

ほんとうがういふと無理なところを

医師の嚴重な監視のもとでの復転を

ゆるされたので特別です。から皆さん

まで眞誠な思いで下さい。

○ 二十六年度手術患者 千不豆豆

代は自宅を養育のところが、市

原病院に入院なさつた言おしらせが

ありました。函桐病院入院中の李相愛

金工編、前次室内、吉田淳一諸氏も

元気で自治会などで活動を續けてい

られます。

○ 信愛病院入院中の室田茂一、福本

シゲ富氏が手術後一年近くになります

# 員 た よ

## 会

☆ 去年四月に成形した満丹好子さ

んは長野県伊那町の婚家にお歸りに

なり静養を續けていらつしやいまし

たが培養陰性赤況二・三ミリという

状態で経過良好、この頃では雑物を

したり小鳥の世話をしたりしていま

すとのお便りがありました。

○ 森やさんでおなじみの永井大作

さんは四月に突然容死しましたが

四月二十九日葬儀に手術を終了番号

室で静養中です。

○ 信愛病院入院中の室田茂一、福本

シゲ富氏が手術後一年近くになります

がスツト培養マイナスまで至極元気

ですとのお便りがありました。

# 訂正

前号掲載の歩行法の差、  
談会記事において別段長よ  
り次のように訂正してほし  
いとの申しわけがおりまし  
た。

## た

(1) 一〇〇〇メートルで練習がある

がこれは試まなく良い、原則とし

て五分前に起床がなければいけな

いので勿論、夜にら寝ましなけれ

ばいけないわけである。

(2) 練習計画や報告書訂正版の付け

一つの誤りもこれが必ずしもはら

べりした被れのバロメーターにな

るといふことはない。

## 内職の紹介

○ 回復者またはその御家族の方で

内職を御希望の人は、圖書外交販売

の社等がありますから

葛飾区上平井三七三番地

野沢信義氏

に御問い合わせ下さい

# 親和会日誌

四月二十三日(水)西幹華会  
左の事項決定  
一、西幹華会は独立のサー  
クルを作ること。  
二、圖書外交販売(会員  
野沢信義氏紹介)を公員に  
轉換すること  
三、親和会役員任期三ヶ  
月とする提案があつたが、やはり、  
従来通り六ヶ月にすること。  
四、「新築」に対する批判として、  
イ企画が充実していかないこと、  
ロひとつ、ひとつの内容は良いが  
全体的に調和されていらないこと等  
があげられました。

編集者	堀田 武夫
製版者	板谷 忠雄
カツト	長尾 信之
印刷者	田島 文市



SINWAKAI